

(学年) 1～3 学年、(教科・科目) リサーチ&amp;レポート (探究学習)

協同学習

(単元) リサーチ&amp;レポート全体発表会

(本時のねらい)

「リサーチ&レポート」は本校独自の教科であり、生徒の探究心を高め、夢を追求する力を育てるために設定された教科である。生徒は、国語・社会・理科・保健体育の4教科に分かれ、自然や社会、文学や健康・スポーツ等について、一人ひとりが自分の興味・関心や問題意識に基づいて研究テーマを設定し、調査研究（リサーチ）と研究論文（レポート）の作成に挑戦している。この「リサーチ&レポート」の活動を通じて、科学的に調査研究し記録する能力や、論理的に考察しまとめる能力等を育成するとともに、中間報告会や研究発表会などの機会を設け、プレゼンテーションなどの効果的な表現方法についても身につけていく。また、昨年度より導入された一人一台端末を用い、調査研究や研究論文の作成、プレゼンテーション用のスライドの作成もすべて一人一台端末を用いて行う。さらに、この全体発表では、3年生の発表を下級生が見ることによって、本校の教育目標である「ゆるぎない自信を持って未来を拓くたくましい人材の育成～心・力・夢を育てる中高一貫教育～」をめざし、自分だけでなく、仲間や先輩、後輩などとの豊かな協力関係を築くことができるよう、コミュニケーション能力を高め、主体的に課題に取り組む態度を身につけさせたい。

(ICT活用方法)

昨年度はコロナ禍で発表者も観客の生徒も自宅からのリモート発表会となったが、今年度は従来通りのホールで発表を行うことができた。また、発表に使うスライドは各自の一人一台端末で作成し、ワイヤレスディスプレイアダプタを介してプロジェクタで投影する。効果的にプレゼンテーションを行う力、発表を聞いて感想を伝えたり、質問したりすることができる態度を身につけさせたい。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法	備考
導入 3分		・リサーチ&レポートについて教頭から下級生に説明する。		
展開 40分	・プレゼンテーションソフトのスライドを使って発表を	第1部 ・発表者の持ち時間は8分。5人に発表させる。 ・質疑応答は司会	・プレゼンテーションソフトのスライドを発表者の一人一台端末を使って、プロジェクタで投影する。	

	行う。	者が行う。		
15分		・休憩		
40分		第2部		
まとめ 1分		・講評を述べる。		

(発表会の様子)



一人一台端末で発表



質疑応答の様子

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

一人一台端末の導入によって、全員が冊子用原稿を文章作成ソフトで教育クラウドプラットフォームに提出し、各教科に分かれてプレゼンテーションソフトのスライドを使った発表を行った。その中から代表を選び、9人が学年での発表を体育館で行い、さらに10人がホールで発表を行った。

7～8分程度の発表の後、2分ほど質疑応答の時間を取った。すべての発表で質問が続き、発表者はしっかり受け答えすることができた。昨年度はリモートであったためにできなかった部分であり、下級生の感想にも、「発表も見事でしたが、質問にスラスラ答えていてすごいと思いました。」といったものもあり、対面での質疑応答が再び行えたことは意義のあることであった。他にも、「わたしも来年はあの舞台上で発表したい」「今からRRのテーマを考えておきたい」といった意見も見られ、来年度への手応えを感じることができた。